



東そのぎ 議会だより

第177号
令和4年1月14日発行

寅年が良い年でありますように



令和4年
謹賀新年



下三根地区しめ縄づくり



里地区門松つくり

もくじ

- ・ 2~4ページ 一般質問(4名)
- ・ 5~7ページ 各委員会調査報告
- ・ 8~10ページ 12月定例会・臨時会
- ・ 11ページ 傍聴者の声・編集後記
- ・ 12ページ 議長 新年あいさつ



東彼杵町ホームページ
議会情報

庁舎整備特別委員会 報告書

役場庁舎整備計画については、先に執行部から現庁舎では令和6年度までに耐震補強か、何らかの対策が必要とのことで、総合会館への移転を提示されておりましたが、総合会館は第3類建造物であり自然災害に対する備えの脆弱性が指摘されております。

行政の一義的役割は町民の生命、財産を守ることであります。それ故に役場庁舎は行政と防災の拠点であり、その機能を併設したものでなければなりません。

昨今の自然災害は想定を超えた被害が各地で頻発しております。

係る現状を鑑みれば、数十年先を見据えた視点が重要であり、執行部からも議会としての方向性を早期に示して欲しいとの要望から、建設に関わった議会として後世に誇れる庁舎を残すべきとの意見を多数決により決定し、新役場庁舎は、図書館（教育センター一分室）、むつみ荘、農民研修センター等を解体し、既存施設を移転して、新庁舎（議会棟を含む）を建設することが望ましいとの結論に至りました。

建設時期については、来年度実施される現庁舎の耐震診断の結果並びに今後の償還計画等を執行部と議会で十分協議、研究して決定される事を望みたい。

なお、彼杵児童体育館敷地案や町が示した計画案を基に町民の意見を聴取すべきとの意見や白紙の状態で町の担い手である若い人の意見を反映させるべきとの意見がありました。

結論に至った理由

① 総合会館への移転の場合

役場庁舎内で、社会福祉協議会（社会福祉法人）や子育て支援センター（NPO法人おんぶにだっこ）と言えども民間事業者が同居することは違和感があること。また、共有することにより、窮屈になり本来の役所機能及び防災機能の低下が懸念されること。

② 現庁舎改築の場合

自然災害時の対応に不安があること。また、敷地面積も狭く庁舎の改築費用に見合う長寿命化は期待できること。

③ 図書館（教育センター一分室）一帯の場合

図書館（教育センター一分室）、むつみ荘、農民研修センターは、建設後40年以上経過し耐震性も無く、現在、雨漏り等が随所に見られ、近い将来、解体を余儀なくされることが想定される。

①②案に比べ図書館一帯は敷地も広く、昨今、頻発する自然災害への対応も可能であり未来に残せる役場庁舎建設が可能な立地条件である。

ただし、建設費用が多額であり今後の財政状況が憂慮されるので議会としても何らかの対応策は必要であろう。

なお、機能、規模、レイアウト等は執行部提案を斟酌したい。



【尾上】東彼杵グリーンテクノパークから宿太ノ浦線を上がる600m位の所に車の離合場所があるが、その場所に大量の抜根した茶樹や陰切りの枝木が放置されている。その対策は。

【町長】10年前から町道外の陰切り分や令和3年8月の豪雨災害時の被害状況調査をする中で河岸の残積物等を十分乾燥させることで河岸の場所は、車の離合場所として置いていた。この場所は、車の離合場所として管理しているわけではないが、この場所を仮置き場として表示すれば不法投棄されるかもしれないとして表示している。この場所は、車の離合場所として表示されなかつた。シルバー人材センターと打ち合わせし、年内に焼却場に持つてい

【尾上】木場本線は長期にわたり施工しておられます。ですが子供達の通学路として関係ある中でいつ頃完成予定なのか。

【町長】令和4年9月に完成予定である。

【尾上】通学路としては今はまっすぐであるが完成した場合は新道の方に変更なのか。

【町長】令和4年9月に完成予定である。

【尾上】木場本線は長期にわたり施工しておられます。ですが子供達の通学路として関係ある中でいつ頃完成予定なのか。

【町長】令和4年9月に完成予定である。

【尾上】木場

町内小学校の現場調査

産業建設文教常任委員会

本町の各小中学校の校舎等に雨漏りや不具合な点等があるとのことで、閉会中の調査事件として計画していましたが、東彼杵中学校については、10月8日の臨時議会で大規模改修事業費として約4,500万円が校舎屋上の防水改修工事と外壁改修実施設計業務委託料として計上され可決されたため、防水改修工事と外壁改修実施設計業務が終了してから調査することになり、各小学校の調査結果は、下記のとおりです。

東彼杵町立彼杵小学校（要望箇所）

- ① 体育館天井水銀灯を LED化への転換
- ② 体育館ステージ下の引き戸の老朽化に伴う修繕
- ③ 体育館ステージ緞帳本幕の老朽化に伴う整備
- ④ 体育館ステージ後方の壁の老朽化に伴う塗装
- ⑤ 校長室床の補強工事
- ⑥ 玄関前のバリアフリー化（郵便受け側と下駄箱側）
- ⑦ 配膳室外の埋設箇所漏水にかかる水道管取替
- ⑧ 運動場体育倉庫トタン屋根の老朽化に伴う葺き替え
- ⑨ 1学年及び2学年教室の運動場側出入り口の段差解消のための溝蓋設置
- ⑩ 1学年及び2学年教室の掲示物用の受け板の取り付け
- ⑪ あおぞら・たんぽぽ学級出入り口の段差解消のためのスロープ設置
- ⑫ 教師用棚の取替及び設置
- ⑬ 4年1組の掃除道具入れの設置
- ⑭ 2階東側女子トイレ天井、3-2天井等、雨漏りがあるのでその改善
- ⑮ 洋式トイレの整備とバリアフリー化（5・6年生児童アンケート調査結果も出ている）



東彼杵町立千綿小学校（要望箇所）

- ① 児童会室・各特別教室の準備室・旧技術室棟図工室等の整備
- ② 運動場裏校門からの通学路に側溝蓋の設置
- ③ 歩道橋付近の柵の改修
- ④ 旧校舎等からのサッカーゴールや物置プレハブの移設
- ⑤ 運動場トイレの全面改修
- ⑥ 図書室のUVカットカーテンの設置
- ⑦ 校門・玄関・裏門や体育館の屋号（緞帳・校歌・校訓等）の変更
- ⑧ 保健室・階段踊り場・屋上階段・3階音楽室前後の雨漏り対策
- ⑨ 茶レンジルームの床コンセント収納の整備
- ⑩ 運動場へ行く通路扉（保健室横）を観音開きに改修
- ⑪ 相談室・放送室・職員室のエアコンの整備
- ⑫ 保健室の洗濯機設置のための下水管布設工事等
- ⑬ 木製フロアの劣化による床の改修
- ⑭ 校舎内壁の塗装
- ⑮ 理科室カーテンの取替
- ⑯ 体育館バスケットゴールを小学生用に取替
- ⑰ ステージ増設台の撤去
- ⑱ 体育館東窓からの雨漏り対策と床の張替
- ⑲ 体育館窓ガラス並びに内側柵の補修
- ⑳ 体育館暗幕カーテンの全面取替
- ㉑ 体育館電灯スイッチの新設



2校の調査結果では、まだまだ不備な箇所が見受けられるので委員会としては、改善箇所が多数ある中で、学校側と調整を図り優先順位を見極めながら、予算確保に努め児童の安全性や教育環境を考慮し、早急に改善されたいとの意見がありました。

令和3年11月9日

町内における3団体の行政調査

総務厚生常任委員会

東彼杵町内外郭団体3事業所での現況調査及び実績についての委員会調査を実施しました。

特定非営利活動法人「おんぶにだっこ」

「おんぶにだっこ」では地域みんなが集まる場所として「みんなおいでよ」「すくすくねんね」「学童保育にこにこはうす」の3事業をおこなっているとのことである。

「みんなおいでよ」の活動内容としてつながる広場・くつろげる居場所の提供等子育て支援の活動や現在は月1回（第3土曜日）の子ども食堂を開いているとのことであった。食材は主に「佐世保子ども食堂ネットワーク」より調達しているとのことである。完全なボランティアで町からの補助金はないとのことであった。他には「学童保育にこにこはうす」では毎日利用する児童と休み期間だけの利用者で100人程度の登録があり、毎日50人程度の利用があるとのことでした。



学童保育にこにこはうす
「宿題に取り組む児童たち」

東彼杵町「シルバー人材センター」

平成24年度から人材センターから再出発をして、現在に至っているとのことでした。登録人数は男性30名、女性13名である。センターと会員との間に雇用契約はないので、保険の適用もないことです。仕事内容は除草・草刈り・剪定が主で後は農作業・土木・施設の掃除・給食センターの運転手等である。令和2年度は467件の依頼があった。センターは高齢者がほとんどであり仕事の内容によっては断っているとのことであった。複数人の現場作業では、リーダーを決めて事故・怪我がないよう心掛けているとのことである。委員から官公庁や企業と個人に対しての賃金面で少し考える余地があるのではないかとの意見があった。

東彼杵町社会福祉協議会

昨年までは介護事業として3種類の事業を行っていたが、訪問介護は大幅な赤字が続いているため今年の4月から休止しているとのことである。居宅介護事業では資格を持っている2名の職員が担当しているが、収益は出でていないとのこと。利益があるのは通所介護事業だけで、年間7,000名程度の利用があり、令和2年度は600万円の収益があった。生活支援体制整備事業が今年から始まり、生活支援コーディネーターを中心に地域で支えあう仕組みになっている。その中で12月から飯盛・川内地区で社協の車を使用した買い物支援事業が月1回始めるとのこと。運転手は地区のボランティアにお願いし、他にも食事サービス・子育て支援・要援護者ネットワークづくり等14の事業が行われている。

社協の会長より、大雨地震等災害に対して、平時から対応するのは難しく今のスタッフでは手が回らない。行政の力を貸して欲しいとの要望がありました。

3事業所とも補助金は適正に管理されており、職員全員が町民の福祉向上を念頭に仕事を専念されている様子が伺えた。

令和3年11月29日

12月定例会で

介護保険事業特別会計

追加された主なもの	補正額
保険給付費の予算不足が見込まれるため	5870万円

後期高齢者医療特別会計

追加された主なもの	補正額
後期高齢者医療広域連合納付金	33万3千円

④ 来年入学予定の障害者生徒のためにトイレを改修するもの

⑤ 令和2年度、遠の久保川災害復旧追加分



⑥ 町内商工業者のデジタル化を促進するため、ウェブサイト環境を整備する事業

⑦ 子育て世帯への臨時特別給付金を(第4回臨時会補正予算分と合わせて)18才未満に一人あたり10万円を給付するもの

新型コロナワクチン接種会場の様子

決まったもの

可決

一般会計補正予算

2億1513万2千円が追加され、総額65億3249万円となった。

追加された主なもの	補正額
① 新型コロナ予防接種事業費	587万1千円
② 事業所応援給付金	1500万円
③ 彼杵小学校校舎屋上防水工事	1250万円
④ 東彼杵中学校1階トイレ改修工事	470万円
⑤ 令和2年発生河川災害復旧工事費追加	1000万円
⑥ 商工業者情報発信支援事業補助金	455万円
⑦ 子育て世帯臨時特別給付金追加	5500万円

② 前年度比の20%減の事業者に対し、10万円を交付するもの

① 第3回目のワクチン接種の実施予算であり、接種順番は第2回目の接種時期を踏まえて実施される。65歳以上の高齢者は2月以降の予定である。なおワクチンの種類(ファイザー・モデルナ)は現在定まっていない。

③ 現在、屋上からの漏水が原因の雨漏りが発生しているので、ウレタン施工工事を行うもの

令和2年
遠の久保川災害箇所

傍聴者の声



12月の定例会の傍聴者は17人でした。

★ワクチン接種率70%のドイツでも感染拡大していて抗体や免疫についても不明と言われているのに、子供へのワクチン接種を強くすめるような発言をされたのはなぜなのか。
中学校の老朽化に関して、雨漏りはひどく、まだ校内に「通行止め」とされる時もあります。
天井や漏電、漏水が起きないか心配です。

30代 女性

★厳しい限りある財政状況の中、町民の意見も聞きながら、学校(校舎)、町道、上水道等々、優先順位を踏まえてやっていただきたい。

60代 女性

★町議会と地域、議員と町民の接触の機会を設けてほしい。

70代 男性

★上下水道は、住民の暮らしにかかわる問題。役場は行政の責任者として、もっと町民ひとり一人の身になって現場に足を運び、困った人の立場に立って仕事をしてほしい。

70代 男性

傍聴ありがとうございました。一部抜粋して掲載しています

昨年よりコロナ渇による影響は全世界に大きな影響を与えております。
特に経済的損失は計り知れないでしょう。
この影響は社会の在り方まで大きく変わろうとしています。
その様に混乱した中、エスカレートする近隣諸国行動に脅威を感じるのは私だけでしょうか、加えて昨今の自然災害は想像を絶する事案が各地で頻発しております。この様に厳しい社会環境の下、我々が後世に残せる物は何なのだろうか。せめて、自然災害に対応できるインフラ整備と行政と防災の拠点である役場庁舎ではないでしょうか。

我々、議会は庁舎整備特別委員会を立ち上げ、新たな提案を具申致しました。

委員長 副委員長

橋村
尾上庄次郎
浦富男
口木俊二
林田二三
大石俊郎
孝彦



編集後記

様々な意見があるのかと思いますが町民皆様方のご理解をお願い申し上げますと共に新しい年が皆様にとってより良き年となることをお祈り申し上げます。
(橋村)

東彼杵町放課後児童健全育成施設設置条例

旧東彼杵町立千綿小学校の教室棟及び運動場の一部を放課後児童健全育成事業の実施施設として活用するにあたり、行政財産として管理するため。

※下校移動時の安全面や放課後施設で児童が健やかに過ごす環境を整えるために施設設置条例が制定されました。

東彼杵町体育館設置条例の一部改正・東彼杵町体育館使用条例の一部改正

旧千綿小学校体育館について町立体育館として管理する必要があるため。

東彼杵町国民健康保険条例の一部改正

令和4年1月1日より産科医療補償制度が見直されることを踏まえ、出産育児一時金の支給額を見直すため。

・制度の見直しについて

令和4年1月1日以降に生まれたお子さまから補償対象基準等が変更になります。

【補償対象基準】

在胎週数の基準：32週以上から28週以上へ

【掛金】

お産1件ごとに分娩機関が負担する掛金：1万6千円から1万2千円へ

※掛金相当分が加算されている出産育児一時金の総額については、42万円から変更はありません。

臨時会

可決

一般会計補正予算(第8号) 10月8日 第3回

追加されたもの	補正額
新形コロナ予防接種事業費	751万2千円
事業継続給付金	630万円
中学校大規模改修工事事業費	4468万4千円
災害復旧工事費	2億5400万円

賛否表

林田	立山	浪瀬	口木	大石	尾上	後城	浦	森	橋村
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

(反対意見、大石)

新庁舎建設も取りざたされていく最中、調査も十分行う事もなく中学校改修事業費約4468万円を投入する事は拙速である。

可決

一般会計補正予算(第9号) 11月30日 第4回

追加された主なもの	補正額
子育て世代への臨時特別給付金	5500万円

議長 新年あいさつ



新年明けましておめでとうございます。

町民皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申しあげます。また、日頃より町議会に対し特段のご理解とご協力を賜っております事に町議会を代表して、心より厚く感謝致します。

昨年は一昨年から続くコロナ禍の中、開催された東京オリ・パラリンピックや「地球温暖化の予測研究」での真鍋淑郎さんのノーベル物理学賞受賞、そして何と言っても大谷選手の大リーグでの活躍はコロナ禍で疲弊した全国民にひと時のやすらぎと将来への希望を与えたのではないかと思われます。

本町に於きましては、全国茶品評会で5年連続日本一は逃したものの産地準大賞・アワード準大賞を獲得され、日本一奪回に向け大いに期待が膨らんだものと思われます。

さて、少子高齢化、人口減少になかなか歯止めがかからない本町ですが、その上、役場庁舎、学校校舎、児童体育館等の多くの公共施設で耐用年数が過ぎたり、老朽化が進んでいます。議会、執行部では大規模改修による長寿命化や新築の議論を昨年から本格的に展開中ですが、何せ厳しい財政状況ですので、全国の事例を参考にし、共に研究・研修を重ね、正にこうした事態の時こそ町民に寄り添い、真摯に耳を傾け、町当局・議会が一体となって問題の早期解決を図る事こそが議会の使命と思っております。

幸いにも、本町は交通アクセスが良く、山・川・海の自然環境にも恵まれ、そして、何よりも他人をおもんぱかる心豊かな地域力があります。「孟母三遷」の教えのごとくより良い教育環境は子育て世代の第一の関心事です。これからは、特に教育に基本を於いた町づくりも本町では、大いに一考に値すると思われます。

SDGsの潮流が全国的に押し寄せる中、役場公用車に初の電気自動車が導入され、昨年8月から町内一部地域でも超高速大容量の5Gが利用できるようになりました。私ども町議会でも、少子高齢化・環境問題・デジタル化による議会活性化等多くの課題に対し町民皆様と問題意識を共有しながら、議会本来の役目である町政の監視・批判を常に念頭に置き、町政発展のために議員全員で努力研鑽していく所存です。

結びに、オミクロン株の発生により、まだまだ油断のならない毎日が続きます。町民皆様におかれてもこれまで同様に、手洗い、マスク、換気等に留意され、ご自愛されますと共に皆様のご健勝とご多幸、そして平穏な日常が一刻も早く訪れる事を心から願い、議会を代表しての新年挨拶とさせて頂きます。

令和4年1月 東彼杵町議会 議長 吉永秀俊

